

異常気象時通行規制区間及び規制基準の見直し
～規制区間の解除（緩和）～

令和2年度 大阪府都市基盤施設維持管理技術審議会
現地確認 結果

-
1. 実施区間
 2. 実施概要
 3. 区間の概要
 4. 現地確認
 5. まとめ

1. 実施区間

路線名	位置	延長【km】	(現)基準雨量区分	最大経験雨量	(新)基準雨量区分
国道423号	豊能郡豊能町川尻	0.6	基準230mm	493mm	基準290mm

2. 実施概要

1. 実施日時 : 令和2年10月30日(金)14時～17時

2. 現地確認者 : 京都大学 岸田教授
関西大学 小山准教授

3. 対象路線 : 一般国道423号

4. 現地確認ルート



3. 区間の概要

1. 異常気象時通行規制区間の概要

- 路線名 : 一般国道 423号
- 対象区間 : 豊能郡豊能町川尻(延長0.6km)
- 交通量 : 11,689台/24h(出典:平成27年度道路交通センサス)
- 規制基準 : 通行止め連続雨量230mm(通行注意180mm)
- 指定年度 : 令和元年度

2. 過去の雨量履歴及び災害履歴

降雨日時	連続雨量	災害履歴
H30年 7月 5日 0時 ~ 6日 15時	493mm	災害なし

※上記以下の降雨でも過去10年間、災害履歴なし

3. 過去の最大連続雨量と基準の見直し

降雨日時	最大連続雨量	見直し基準雨量
H30年 7月 5日 0時 ~ 6日 15時	493mm	290mm

※雨量観測所 : 高山小学校(観測所からの距離 1.5km)

3. 区間の概要

4. 路線図



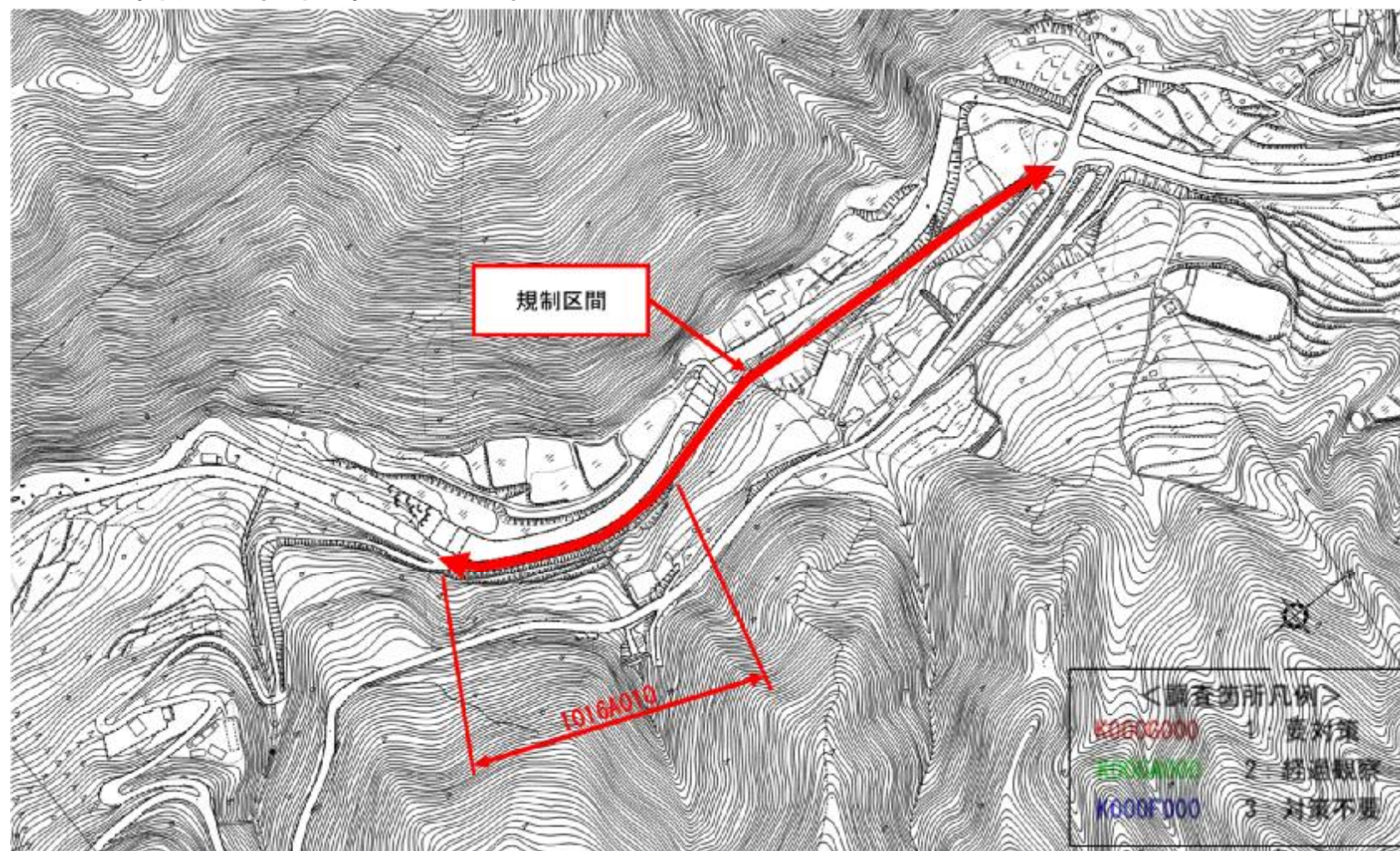
3. 区間の概要

5. 航空写真



3. 区間の概要

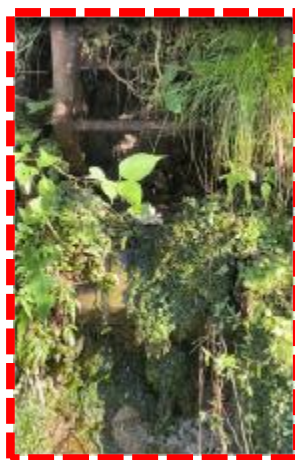
6. 道路防災点検結果(H27点検)



4. 現地確認

現地状況写真

1016A010 要対策箇所への対策状況の確認



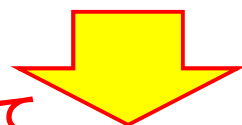
《委員の意見》

- ・法枠工からの湧水状況や中詰め工の状況について、植生を伐採した際に調査されたい。
- ・劣化した手すり階段は、使用できない状態であれば撤去などの対応を検討されたい。

5. まとめ

- (1) 法枠工の中詰部からの湧水に起因する構造物への影響を視野に入れ経過観察を実施する。
 - ⇒ 植生を伐採した際に湧水の流出状況を調査するとともに、道路土工構造物点検等において、法枠工に変状がないか確認する。
- (2) 法枠工の中詰め植生土の劣化状態の確認が必要
 - ⇒ 植生を伐採した際に中詰め工の状態を確認し、必要に応じて対策を実施する。
- (3) 劣化が見られる段階の健全性の確認
 - ⇒ 植生を伐採した際に確認し、補修しても使用できない状態であれば撤去などの対応を検討する。

経過を観察することを前提として



通行規制基準雨量の緩和を実施